

大島大橋 小中進の提案

2023/04/05

1, 柳居俊学氏の観光政策の提案 大島大橋のイルミネーションとライトアップ

山口県選挙管理委員会の発行する選挙公報の周防大島町選挙区に、柳居俊学氏の掲載がなぜかなくて、詳細は不明ですが、昨日行われた、私たちの事務所近くで行われた演説で以下のようなことを提案しています。

- 大島大橋の夜間ライトアップとイルミネーションを行う。大島大橋周辺の観光の目玉にする。
- かねてより後援会の会報などで持論として言ってきた。
- この度、予算措置にメドがたって、実現の運びとなった。

2, 問題点

周防大島地区の課題として観光政策の充実が必須緊急であることは、言うを待ちません。また、観光政策の重点的な措置とともに、迎え入れる地域住民の暮らしの充実も大切なことです。

その上で、以下の問題点が浮かび上がります。

① かねてからの構想だとしても、今の選挙期間中に急に予算措置が取れたということがありうるのか。選挙目当ての強引な手法ではないのか。県の行政に無理やり押し込んでいるのではないか。また、議会の委員会審議などがきちんと行われているのか。

② 大島大橋については、以前から要望が住民から寄せられているところです。

○側道の通路を夜間、自転車などが走れるように明るくしてほしい。

○側道を散歩道として工夫してほしい。

○大島側の観光センターをつくってほしい。大島側には、トイレと売店、駐車場があり、入口としての役割を果たしている。大島側にも、準公設の案内所がほしい。

③ 島の一部、橋の周辺だけ夜間観光で、「売り」になる可能性が本当にあるのか。島全体の自然を活かし、自然と調和した総合構想のもとに、町民参加で意見を出し合い、計画立案すべきです。一時的な思いつきでなくて、地に足の着いた堅実な観光政策が必要です。

3, 大島大橋について小中進の提案

2018年10月22日の大橋事故の教訓を活かすことが最も大切なことと考えます。

① 2018年の大橋の事故は、貨物船の衝突です。その打撃の強さと橋の耐震性はどうなのか。大小の地震や南海トラフへの備えはどうなのか。検証と対策は、公開すべきです。

小中は、上関原発を建てさせない運動の中で、伊方原発の地震に対する弱さ、上関原発の危険性について学んできました。その経験から、大島大橋を含む地域の安心安全な生活基盤の確立に尽力します。

② 2018年の事故では、光ファイバーケーブルと水道管の破損が、周防大島町の生活インフラに大打撃を与え、混乱を招きました。その対策、とくに水道の脆弱性は、水道料金の県内一の高さとあいまって、根本的な検討と対策が必要です。小中は、柳井広域水道事業の見直しを行います。

以上

